



# mAP Coreとは

2021.4.23

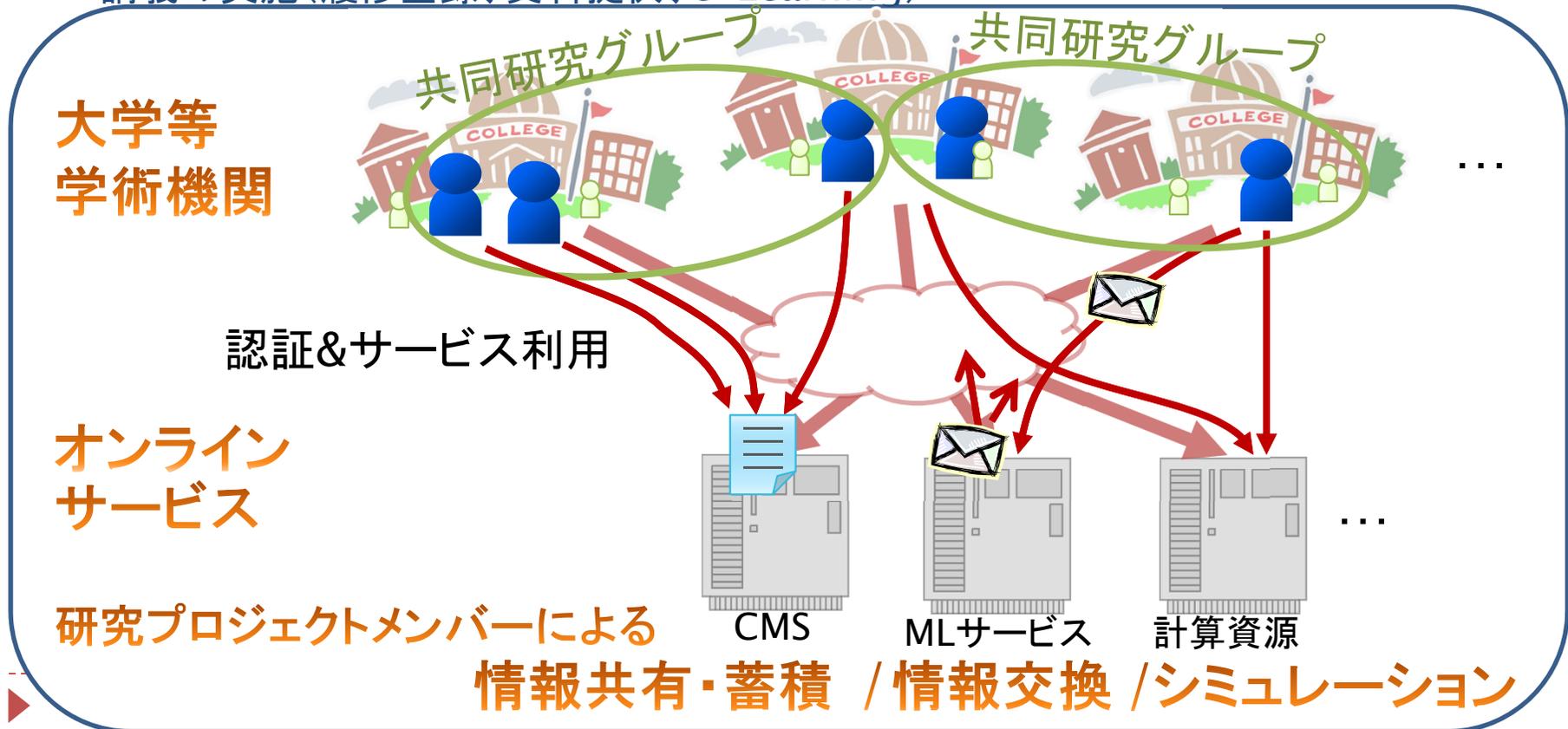


GakuNin

## mAP Coreの目指すところ: 研究教育活動を支援するサイ バースペースの提供

研究教育活動支援の各種オンラインサービスが簡単に利用できる場

- ▶ 研究活動/教育活動 - 例えば
  - ▶ 研究プロジェクトの推進(情報共有、情報交換、スケジューリング、計算資源利用)
  - ▶ 論文作成(文献検索、文献閲覧、収集・蓄積)
  - ▶ 講義の実施(履修登録、資料提供、e-Learning)





- ▶ 紆余曲折あり、現在学認クラウドゲートウェイサービスのグループ機能として存在する。
- ▶ 改めて「mAP Core」と命名。抽出・外出しする。
  - ▶ グループ機能: 共同研究グループなど学認のIDの任意の集合を「グループ」として扱い学認参加SPに対してグループ情報・メンバー情報を提供する
    - ▶ 利用例:
      - ▶ グループ機能対応Wiki
      - ▶ グループ機能対応メーリングリストサービス
      - ▶ 実習システム
      - ▶ GakuNin RDM



## mAP Coreの外部とのインターフェース

mAP Coreが提供しているグループ管理のインターフェース・APIは3種類ある:

### ① SAML 2.0 Attribute Query

- ePPN(もしくはメールアドレス)をキーに、所属するグループIDを取得できる
- 属性交換仕様として国際標準
- meatwiki、しぼすけ他多くのグループ機能対応SPで利用
- 大学にサーバーを立ててmAP Coreがプロキシして学内情報との連携を実施した実績あり

### ② 情報取得API (Groups API / People API)

- グループ情報・メンバー情報取得のためのAPI
- <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/lwic>
- VOOTベースだが認証は独自
- meatmailで利用

### ③ mAP Core API

- グループ作成、メンバー管理を含めた汎用API
- 試験利用・提供中



- ▶ 一部IdPがSPに接続していない問題
  - ▶ グループが利用しようとするSPは、IdPごとに属性送信する/しないが異なっており、複数機関にまたがるグループでの利用に問題が生じる。グループで利用するにはIdPから必要なSPに属性送信するようお願いする必要がある。
- ▶ メンバーをどうやって規定するか問題
  - ▶ mAP Coreには「招待する」もしくは「入会申請する」の2通りの手段しかないため、授業等で多くの(未確認の)IDをグループに参加させるには不向き。

逆に言えば上記2件は初期整備を突破すれば、どうにかなっている

- ▶ 非対応SPはグループを理解しない問題
  - ▶ 例えばSlackは前述のmAP Coreへのインターフェースいずれも持たない。
  - ▶ 機関全体で使うならともかく、個々のグループで使うには機関IdPで認証後に認可が必要である。
  - ▶ VO or SCIM or ...?



GakuNin

## mAP Core APIの現状

---

- ▶ 学認参加SP(もしくはIdP)から直接グループ管理できるようAPIを整備
- ▶ 現状、外部SPからグループ管理の最低限(作成・更新・メンバー追加削除)のAPIのみを提供している(mAP Core API V1)
- ▶ NII内で試験利用・提供中



## 令和3年度計画

- ▶ mAP Core API V1は内部データ依存性が強くこなれていないので、モダン化、一般化を含めた、グループ機能全体をカバーするAPI V2を設計(昨年度からの継続、4月中)
- ▶ API V2に対するフィードバック(5月中)
- ▶ API V2の実装(第一半期中)
- ▶ API V2の提供(第二半期中)
  - ▶ V2提供開始から1年はV1を並行提供し、移行を促す
  - ▶ V2とバッティングする機能はない(ため並行運用に支障はない)想定
- ▶ 機能拡張:メンバーに対するより細かなロールの提供
  - ▶ 現在は一般ユーザと管理者(グループ・メンバーを操作する権限を持つ者)の別を提供
  - ▶ 昨年度:サブグループをロール付与と見立てた提供(API等のサポートなし)
    - ▶ グループIDを“<グループ名>/<ロール名>”とする
  - ▶ 上記を内部構造としてAPIを設計(第一半期中)
  - ▶ APIおよびWeb UIの実装(第二半期中)